

**あなたは、ジュラシック・パーク・ザ・ライドで
滝壺に落ちる時なんと叫びますか？**

伊 藤 義 経

奨励者紹介[いとう・よしつね]

日本キリスト教団蒲生教会牧師

一同がゲツセマネという所に来ると、イエスは弟子たちに、「わたしが祈っている間、ここに座っていなさい」と言われた。そして、ペトロ、ヤコブ、ヨハネを伴われたが、イエスはひどく恐れてもだえ始め、彼らに言われた。「わたしは死ぬばかりに悲しい。ここを離れず、目を覚ましていなさい。」少し進んで行って地面にひれ伏し、できることなら、この苦しみの時が自分から過ぎ去るようにと祈り、こう言われた。「アッバ、父よ、あなたは何でもおできになります。この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしが願うことではなく、御心に適うことが行われますように。」それから、戻って御覧になると、弟子たちは眠っていたので、ペトロに言われた。「シモン、眠っているのか。わずか一時も目を覚ましていられなかったのか。誘惑に陥らぬよう、目を覚まして祈っていなさい。心は燃えても、肉体は弱い。」更に、向こうへ行って、同じ言葉で祈られた。再び戻って御覧になると、弟子たちは眠っていた。ひどく眠かったのである。彼らは、イエスにどう言えばよいのか、分からなかった。イエスは三度目に戻って来て言われた。「あなたがたはまだ眠っている。休んでいる。もうこれでいい。時が来た。人の子は罪人たちの手に引き渡される。立て、行こう。見よ、わたしを裏切る者が来た。」

(マルコによる福音書 14章32—42節)

「一同がゲツセマネという所に来ると、イエスは弟子たちに、『わたしが祈っている間、ここに座っていなさい』と言われた。そして、ペトロ、ヤコブ、ヨハネを伴われたが、イエスはひどく恐れてもだえ始め、彼らに言われた。『わたしは死ぬばかりに悲しい。ここを離れず、目を覚ましていなさい』」。

イエスが十字架にかかる前の日のこと。イエスは他の弟子たちを待たせたまま、ペトロ、ヤコブ、ヨハネだけを連れてゲツセマネの園の奥に行きます。この三人はイエスの同郷ガリラヤ出身で、まあ幼なじみと言いましょか、お気に入りの弟子だったのでありましょ。

「少し進んで行って地面にひれ伏し、できることなら、この苦しみの時が自分から過ぎ去るようにと祈り、こう言われた。『アッバ、父よ、あなたは何でもおできになります。この杯をわたしから取りのけてください』」。

ルカによる福音書によれば「石を投げて届くほどの所」(22章41節)って言いますから、十数メートルでしょうか、離れて一人で祈ったのです。

「アッバ!!この杯をわたしから取りのけてください」。

「アッバ」はイエスが日常的に使っていたと思われるアラム語で「父」を表します。しかも、もともとは幼児語だそうです。

「杯」は古代ギリシア語も現代日本語も意味することは同じです。予定された未来、運命を指します。すなわち、

「お父ちゃ〜ん、助けて〜、死にたくないよ〜!」

ってわけです。

弱々です。ダメダメです。情けないです。

USJが好きです。自宅最寄り駅からJRで1本で行けることもあり、開業当初は年間パスを買って毎日のように通ってました。さすがに毎日付き合ってくれる友だちもいないもので、一人で行きます。何が好きって、やはり「ライド物」。特に「ジュラシック・パーク・ザ・ライド(注1)」が大好きです。

一人で乗り込むわけですが、舟は一人乗りではありません。他のお客さんと一緒です。するとエンターテイナーであるワタクシは他のお客様をも笑わせなければならないという衝動にかられます。大きなお世話です。草食恐竜ゾーンでいちいち「おー!」と感心します。コンベアに載せられて坂を昇っただけで「ギャー!」と驚きます。同乗のお客さんは「変なオッサンと一緒にしてもた」とあきれ顔です。

さてクライマックスです。ティラノサウルスが前から迫ってきて噛みつかれそうになった瞬間、舟は滝壺に真っ逆さま。ここでなんと叫ぶかが物語の最大の山場。しかも、滝壺に落ちた先にも見物客がいますから、彼らをも笑わせなくてはなりません。なんと叫んで落ちていくのが一番笑えるのか、一番情けないのか。

「キャ〜〜!!!」

いくら私が声がでかくても、女性の金切り声にはかないません。ダメです。でも年間パスを持っていますから、一人ですから、何度でも乗ります。

「助けて〜〜!!!」

いまいちです。

そして滝壺に落ちること数十回、研究に研究を重ね、確実に笑いをとれる叫びを編み出しました。

「お母ちゃ〜〜ん!!」

しかも、滝壺に落ちている途中にフラッシュがたかれ、写真を撮られ、なんならそれを買えるようになってるわけです。普通は両手を上げて叫びながら、落ちていく方を見ているものです。同乗客はあの変なオッサンが「お母ちゃ〜〜ん」と叫びながら、どんなひどい顔で写っているか興味津々です。

すると私はカメラ目線で(もちろん何度も乗ってるのでカメラがどこにあるか把握しています)、合掌しながら真顔で写ってるわけです。

「お母ちゃ(カメラ目線・真顔・合掌)〜〜ん!!」というわけです。

同乗した知らないお兄さんが私の肩をポンとたたき「オッサンやるな!」とか言いながら、私の写真を買って帰ったら、ショーは終わりです。え?迷惑ですか?

そう、今日の聖書のイエスと一緒にです。「お父ちゃ〜〜ん」、最も情けない言葉です。お父ちゃんの膝を揺り動かさんばかりに切に祈るのですが、お父ちゃんは応えません。何も応えません。仕方なく、おそらく彼の生涯初めて人間に頼ります。そのためにお気に入りの弟子を三人連れてきたんですから、寝ずに一緒に祈っていてくれるはずですから。

「それから、戻って御覧になると、弟子たちは眠っていたので」

寝てるんですね。イエス半ギレです。

「ペトロに言われた。『シモン、眠っているのか。わずか一時も目を覚ましていられなかったのか。誘惑に陥らぬよう、目を覚まして祈っていなさい。心は燃えても、肉体は弱い。』更に、向こうへ行って、同じ言葉で祈られた」。

もう一度、お父ちゃんに祈ります。しかし、お父ちゃん応えません。もう一度弟子たちのところに戻ってみます。すると、

「再び戻って御覧になると、弟子たちは眠っていた」。

やっぱり寝てるんですね。私、福音書の中で、マルコによる福音書14章40節の後半が一番好きなんです。弟子たちの寝てた理由が書いてあるんですよ。

「ひどく眠かったのである」。

人間眠いと寝ちゃうわけです。

師匠も弱けりゃ、弟子も弱い。弱々、ダメダメなわけです。

戦国時代の義賊、石川五右衛門。結局捕まって三条河原で釜茹で処刑にされます。五右衛門は「ぬりーなー（注2）」と言って死んでいったそうです。カッコいいですね。もちろん、ぬるいわけはありません。痩せ我慢です。同じ殺されるならそうありたいものですね。しかしイエスは「お父ちゃ〜ん、助けて〜」。

ギリシアの哲学者ソクラテス。時の権力者と意見の齟齬があり、説を曲げろと迫られる。誇り高い哲学者ソクラテスは、自説を曲げるくらいなら死んだ方がましなわけです。説を曲げるか毒を飲むかを選ばされ、喜んで毒にんじんジュースを美味そうに飲み干した。泣きすぎる家族を慰めながら死んでいったそうです。カッコいいですね。同じ殺されるならそうありたいものですね。しかしイエスは「お父ちゃ〜ん、助けて〜」。弱々、ダメダメなわけです。

でも、弱々、ダメダメでいいんじゃないかと思うのです。イエスも弱い部分をもっているから、私たちの小さな悩みを理解してくれるのではないかと期待するのです。

そう、「理解」、英語で understand。中学生の時に塾の先生に習いました。understand は under と stand に分けて覚えるべしと。そう、アンダー（下）に、スタンド（立つ）することが理解することなのです。より低い、より狭い、より小さい立場に立つことが理解だと。

子どもと話す時、大人が立ったまま上から目線で話しかけても、多くの場合子どもは怖がって話してくれません。しゃがみ込み、相手の目線になって初めて会話が成立します。

高校の時、物理が苦手でした。テスト返却の時に教員が怒鳴ります。「なんでこんな簡単な問題が分からないんだ」。私は応えます。「先生の教え方が悪いからです」。そしてもっと怒られるわけです。でも、彼は本当に分からなかったんだと思います。教員になるほど物理が得意な者の上から目線で見ると、物理の「ぶ」の字も分からない者がなぜ分からないのかを。

私たちの小さな苦しみを、グラグラ煮立つ湯の中でやせ我慢をしている石川五右衛門に相談できますか。私たちの小さな悩みを、誇り高く自ら毒にんじんジュースを飲んでいるソクラテスが理解してくれると思いますか。

でもイエス様なら聞いてくれるのです。イエス様なら理解してくださるのです。私たちのアンダーな部分にスタンドしてくれるのです。

イエスは弱々、ダメダメなだけではありませんでした。祈りの後半部分、

「『しかし、わたしが願うことではなく、御心に適うことが行われますように』」。

人の罪を贖うために十字架の死を受け入れていく神の子の姿です。弱々、ダメダメな人の子としての姿。両面をもっているからこそ私たちを救うことができるのです。

(注1)「ジュラシック・パーク・ザ・ライド」

ユニバーサル・スタジオ・ジャパンにあるウォーターライド系アトラクション。小舟に乗り、恐竜を見、急流を下る。

「大地を歩く恐竜に出会い、恐竜を甦らせた科学の驚異を目の当たりにする感動のリバーツアー。しかし、コースの先には荒れ狂うT-レックスが待ち受けていた。絶体絶命のピンチ、襲い来るT-レックスから逃れるため、ボートは25.9m下へと、まっ逆さまに！」

(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン公式サイト「ジュラシック・パーク・ザ・ライド」

2018年10月2日最終閲覧 <https://www.usj.co.jp/web/ja/jp/attractions/jurassic-park-the-ride>)

(注2)「ぬりーなー」

「ぬるいな」の意。石川五右衛門の末期の言葉には諸説あり、いずれも後世の創作と考えられる。後述ソクラテスについても諸説あり。

2018年10月3日 今出川水曜チャペル・アワー「奨励」記録